

誘導施策

都市機能誘導区域（拠点形成）に関わる誘導施策

以下のようなまちづくりイメージを念頭に、立地適正化に関する方針及び取組方針に基づく都市機能誘導区域（拠点形成）に関わる誘導施策を整理します。

■まちづくりイメージ

※イメージ図

- ・ リニモ駅周辺の公共空間や公園に多くの人が集まり、イベント等を楽しんでいる
- ・ 大型小売店がリニモ駅周辺に立地し、市民が買い物を楽しんでいる
- ・ 歩行者空間が確保され、多世代の人達が歩いてまちを散策している
- ・ 文化施設で市民が音楽や演劇を楽しんだり、練習したり、趣味を楽しんでいる
- ・ 市民がリニモやバスでリニモ駅周辺の拠点にアクセスしている
- ・ ……

- 都市機能複合拠点や生活交流拠点に位置づけられているリニモ駅周辺では、多くの人を訪れる都市空間の魅力化等により、子どもから高齢者まで、誰にとっても居心地の良い居場所となる拠点形成を図ります。さらに、いろいろな人にとっての活躍の場として活用することで、市民の交流を促進します。

■都市再生整備計画事業等の活用

- ・ 都市機能誘導区域における都市空間の魅力化に向けて、都市基盤整備を進めるため、都市再生整備計画事業等の活用を検討します。

■市民等が交流する拠点の確保

- ・ 長久手市中央2号公園利用促進協議会により、長久手中央2号公園及びその周辺の持つ魅力や環境を生かした地域の活性化及び市民同士の交流を図る取組が行われており、活動の拠点となるリニモテラス公益施設の維持・充実を図ります。
- ・ 供用を開始した昭和61年7月から約40年が経過し、老朽化が進行している杵ヶ池公園は、市民との対話の場を設けながら、使いやすい・活動しやすい公園に向けたリニューアル整備を進めます。
- ・ 文化交流拠点に立地する長久手市文化の家及び長久手市中央図書館は、市民の交流を促進する

場として、引き続き施設の維持・充実を図ります。

●都市空間を使いこなすため、市民を始め企業など多様な主体との協働の取組を検討していきます。

■賑わい創出に資する取組みの推進

- ・長久手中央2号公園及びその周辺の持つ魅力や環境を生かした地域の活性化及び市民同士の交流を図る市民等が主体の取組を支援します。
- ・杣ヶ池公園や長久手古戦場公園等の公共施設・公共空間を活用した市民等が主体となった試験的な取組や実証実験などの取組を支援する仕組みづくりを検討します。

●リニモ駅周辺の各種拠点のポテンシャルを向上させ、現在立地する大型商業施設をはじめとする都市機能の維持を図ります。

■都市計画見直しの検討

- ・誘導施設に関する届出制度を運用することで、都市機能誘導区域内の大型商業施設等の立地動向を把握しながら、必要に応じて立地の維持・誘導に向けた用途地域の変更など都市計画の見直しを検討します。

●都市機能複合拠点の市役所周辺では、日常的な行政サービス機能や災害発生時に防災拠点としての機能といった市役所の機能充実を図ります。※都市機能誘導区域外のため誘導施策検討の対象外（都市マス等で対応）

■－

・－

居住誘導区域（住宅地形成）に関わる施策

以下のようなまちづくりイメージを念頭に、立地適正化に関する方針及び取組方針に基づく居住誘導区域（住宅地形成）に関わる施策を整理します。

■まちづくりイメージ

※イメージ図

- ・道路や公園が整備され、病院、スーパー、子育て施設などの生活に必要な施設が立地する住宅地で市民が快適に暮らしている
- ・市街地の幹線道路で歩道が十分に確保され、徒歩や自転車で市民が移動している
- ・親子で楽しめる施設が立地し、子育て世代が利用している
- ・共生ステーションで、地域の話合いやイベントを開催している
- ・市街地内の公園緑地で、市民が水と緑に親しんでいる
- ・・・・

- 本市の市街化区域において、道路、公園等の都市施設の維持・更新を進めつつ、生活に必要な都市機能が適切に分布した**日常生活圏を構築**することで、良好な居住環境を引き続き維持することで人口集積を図っていきます。
- 日常生活圏等において安全で快適に目的地へアクセスできるよう**歩行者・自転車空間等の確保**による安心して歩いて暮らせる市街地の形成を図ります。

■老朽化が進む都市施設の計画的な改修

- ・老朽化が進む道路や公園等の都市施設について、良好な居住環境の維持・充実に向けて、計画的な改修を図ります。
- ・都市計画道路の整備、改修にあたっては、人や公共交通が中心の道路空間の形成を図ります。

■空き家の利活用の促進

- ・公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会と連携した長久手市空き家バンクを活用し、空き家の流通を促進します。

■土地の高度利用の促進

- ・駅周辺等における優良建築物等整備事業等の国の制度を活用した事業や用途地域などの都市計画の見直し等による人口を受け入れる土地の高度利用を検討します。

■駅や公共施設にアクセスする主要経路における歩行者・自転車空間の確保

- ・リニモ駅や公共施設周辺における主要なアクセス経路において歩行者や自転車が快適に通行できる空間の確保を図ります。

●子育て支援施設の官民連携や民間活力の活用等による運営手法を検討しつつ適切な分布を今後も維持します。また、親子や子どもが利用できる施設の充実を図ります。

●公共施設の充実や民間施設の立地促進や各種イベント等により子どもから高齢まで、地域内で気軽に出かけ、楽しむことができる機会を創出します。

■地域共生ステーションの維持・充実

- ・各地域に配置された地域共生ステーションは、地域の様々な取組や活動の拠点となっており、引き続き施設の維持・充実を図ります。

■公共施設のサービス充実

- ・民間の資金やノウハウを活用した公民連携による公共施設におけるサービス充実について検討します。

■身近な公園の充実

- ・老朽化が進む街区公園等については、子育て世代や高齢者をはじめとする地域住民が気軽に利用し、楽しむことができる身近な公園の実現に向けた整備・改修を進めます。

●市北西部の一部では、香流川からの浸水が想定されており、防災・減災対策を検討していきます。

■災害ハザード情報の周知及び意識啓発

- ・香流川周辺において想定されている浸水リスクについて、防災指針に基づき周知を徹底するとともに、事前の避難行動について意識啓発等を図ります。

公共交通に関わる施策

以下のようなまちづくりイメージを念頭に、立地適正化に関する方針及び取組方針に基づく公共交通に関わる施策を整理します。

■まちづくりイメージ

※イメージ図

- ・多くの市民等がリニモ、路線バス、Nバスを利用している
- ・車いすのベビーカーの方が、無理なくリニモ駅やバス停にアクセスして、公共交通を利用している
- ・リニモ駅に路線バスやNバスが接続し、市民等が円滑に乗り換えをしている
- ・・・・

●子どもから高齢者まで、誰にとっても、長久手らしい魅力的な拠点形成を図ることで、公共交通の利用の促進を図ります。また、長久手市地域公共交通網形成計画と連携を図り、公共交通による拠点までのアクセスを確保することで、公共交通の維持を図ります。

■公共交通網の確保・維持

- ・市内の公共交通を確保・維持するため、リニモや路線バス、Nバスの運行の継続を図ります。

■Nバスの見直し検討

- ・拠点形成の取組を推進しつつ、市民等の移動ニーズや利用目的の変化を把握しながら、拠点へのアクセス利便性の向上に向けたNバスの路線等の見直しを検討します。

■企業と連携した公共交通の利用促進

- ・イオンモール長久手では、リニモでの来店者にポイント付与等のインセンティブ付与によって、公共交通での来店の促進を図っており、引き続き取り組むとともに、新たな施設や店舗への展開、拡充を図ります。

■市民参加型の利用促進の展開・継続

- ・「公共交通応援隊」の活動を継続するとともに、市内公共交通の周知及び利用拡大を図るため、公共交通に関するイベントの実施を支援します。

●公共交通を利用して出発地から目的地まで円滑に移動ができるよう、「歩行者・自転車空間のネットワーク構築」や「バリアフリー化」を促進します。

■都市再生整備計画事業等の活用

- ・都市機能誘導区域における都市空間の魅力化に向けて、都市再生整備計画事業等の活用した歩行者・自転車空間の確保を検討します。

■老朽化が進む都市計画道路の計画的な改修

- ・都市計画道路の整備、改修にあたっては、人や公共交通が中心の道路空間の形成を図ります。